

平成28年2月教育研究評議会議事録

I. 日 時 平成28年2月10日（水）14時00分～14時52分

II. 場 所 事務局第1会議室

III. 出席者：徳久学長、中谷、渡邊、松元、安村、猿渡各理事
高橋、酒井、井上、宮崎、関、小林、石井（正）、高山、山口、林、
建石、加納、小澤、村岡、泉、五十嵐、木庭、米村、山田（哲）、中原、
柳澤、中村、岩永、櫻井、松浦、齊藤、竹内、大西、佐藤、西田、
石井（徹）、高垣各評議員（38名）

オブザーバー：桑古監事、今関機構長

（欠席者：堀理事、山田（賢）、尾松、中山、山本、笹川、井宮、白澤、
岡本各評議員）

IV. 前回教育研究評議会議事録について
原案どおり承認された。

V. 審議事項

1. 定年退職教員（予定者及び既退職者含む）の外部研究費による研究活動に関するガイドライン（案）について

中谷理事から、資料に基づき説明があり、本会議終了後に各部局長に意見を照会し、寄せられた意見を踏まえた最終案を3月の教育研究評議会で審議することとなった。なお、学長から、教育、診療に関しては、このガイドラインに該当しない旨の補足説明があった。

主な意見は以下のとおり。

- 採択額が目安額を下回った場合、採択された本人としては、研究を辞退せざるを得ないのかとの質問があり、なるべく研究継続のために調整していきたいと考えているので、その場合は部局内で検討の上、再度申請して欲しい旨の発言があった。
- 外部研究費が採択された後に、本申請を行っても良いのかとの質問があり、応募前に必ず本申請を行って承認を得て欲しい旨の発言があった。
- 外部研究費の規模の目安を間接経費が年平均80万円以上とした理由について質問があり、事務的経費を考慮して決定したものであるが、部局の特殊性も考慮する必要があることについても、検討していきたい旨の発言があった。

VI. 報告事項

1. 平成28年度千葉大学個別学力検査等志願状況について
佐藤副学長から、資料に基づき説明があった。

以上